

## 資料1

# 平成30年度事業計画

自平成30年 4月 1日 至平成31年 3月31日  
公益財団法人 大平正芳記念財団

## 事業計画概要

公益財団として3つの中核公益事業・「環太平洋学術研究奨励事業」、「北京日本学  
研究センターとの共同事業」、「当財団の事業について普及・啓発・啓蒙を行う事業」につ  
いて、個々の公益性にしっかりと留意しつつ、例年事業を着実に遂行する。

### 1 環太平洋学術研究奨励事業

(1) 第34回大平正芳記念賞 6件に対しクリスタル牌と  
賞金 600万円

- ① Mireya Solis 氏(リチャード・ブッシュ上級研究員)  
『Dilemmas of a Trading Nation: Japan and the United States in  
the Evolving Asia-Pacific Order』 Brookings Institution Press 2017年
- ② 宝剣 久俊氏(関西学院大学国際学部教授)  
『産業化する中国農業—食料問題からアグリビジネスへ』  
名古屋大学出版会 2017年
- ③ 宮田 智之氏(帝京大学法学部専任講師)  
『アメリカ政治とシンクタンク—政治運動としての政策研究機関』  
東京大学出版会 2017年
- ④ 貞好 康志氏(神戸大学大学院国際文化学研究科教授)  
『華人のインドネシア現代史—はるかな国民統合の道』 木犀社 2016年
- ⑤ 鎌田 由美子氏(慶應義塾大学経済学部専任講師)  
『絨毯が結ぶ世界—京都祇園祭インド絨毯への道』  
名古屋大学出版会 2016年

⑥ 高木 佑輔氏(政策研究大学院大学准教授)

『Central Banking as State Building: Policymakers and Their Nationalism  
in the Philippines, 1933-1964』

National University of Singapore Press in association with  
Kyoto University Press. 2016年

(3) 第32回学術研究助成費                      該当者無し

(4) 岩手大学大学院奨学金                      応募無し

2 北京日本学研究センターとの共同事業

「大平コーナー」運営推進事業の一環として

(1) 第14回「日本語優秀学位論文大会」の開催

※本年より6月20日前後(卒業式に合わせ)に表彰式を行う。

3 当財団の事業について普及・啓発・啓蒙を行う事業

(1) 公的機関を通じて故大平正芳の関係資料等の公開を行う事業。

① 大平正芳記念館の運営のサポート

② 『大平正芳関係文書』のオンライン出版 6月発行予定

(丸善雄松堂株式会社)

(2) 「大平正芳記念財団の事業」パンフレット及び「大平正芳記念財団レポート」  
発行と無償配布の事業

① 「大平正芳記念財団の事業」パンフレットの発行

ア 「大平正芳記念財団の事業」パンフレット

イ 「大平正芳記念財団の事業活動」(平成29年6月から同30年5  
月まで)リーフレット

③ 「大平正芳記念財団レポート」第36号の発行

(3) FACEBOOKでの広報活動

<http://www.facebook.com/ohiramasayoshi>